

3. 健全化判断比率

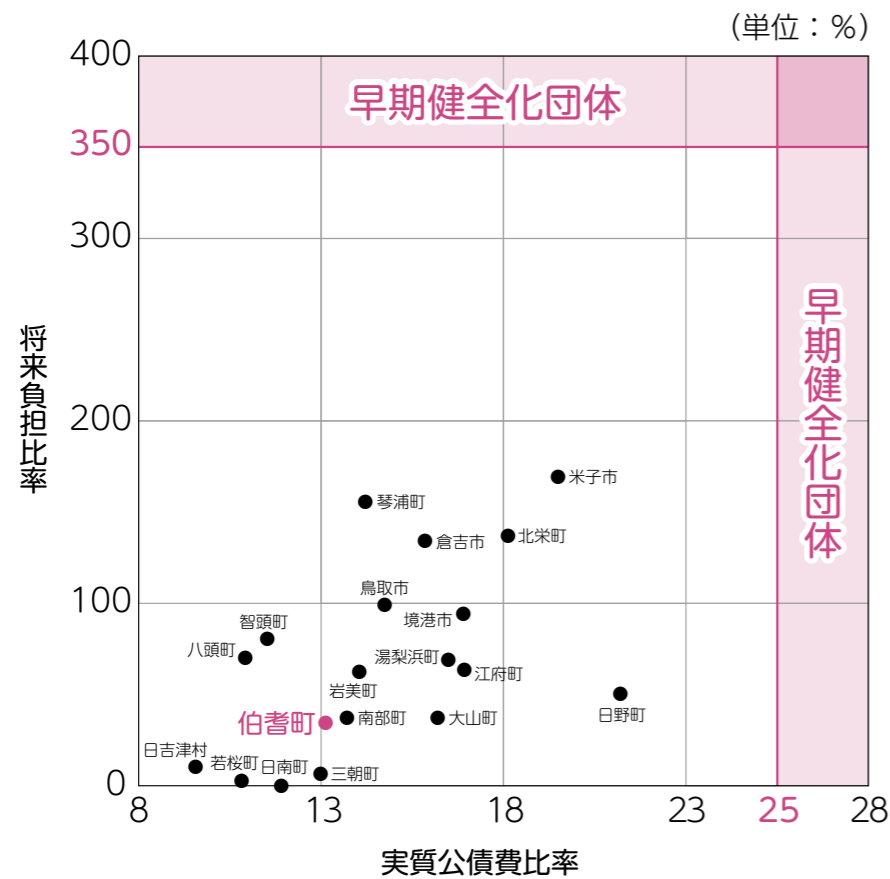
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく、平成24年度決算に係る健全化判断比率の算定結果をお知らせします。

各比率は地方公共団体の財政の健全性を表しており、伯耆町はいずれの比率も健全段階に位置しています。特に実質公債費比率は、近年取組んでいます繰上返済などの影響で、当面の目標であった18.0%を下回りました。しかし、他団体と比べると依然として公債費負担は高く、引き続き適正な公債費管理が必要となっています。

※「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」の比率欄「-」は、それぞれ実質赤字が生じていないことを表しています。

比率区分	説明	伯耆町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
		24年度	23年度		
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字額の、標準財政規模(人口、面積などから算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対する比率	-	-	15.0	20.0
連結実質赤字比率	町全体での実質赤字額(または資金不足額)の、標準財政規模に対する比率	-	-	20.0	40.0
実質公債費比率	町全体の公債費などの、標準財政規模に対する比率(18%を超えると借金するために許可が必要となる) 【過去3ヶ年平均】	13.2	14.6	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率	38.4	51.9	350.0	

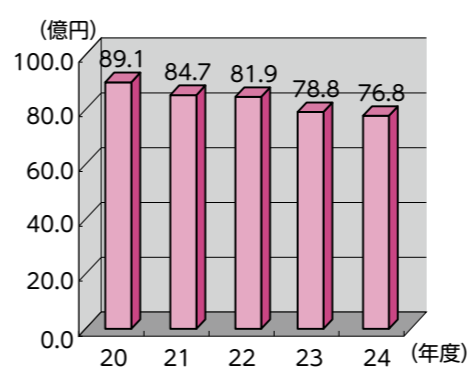
(単位:%)



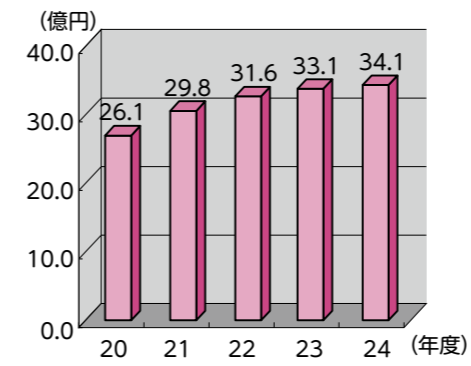
このグラフは鳥取県全市町村の「実質公債費比率」と「将来負担比率」の状況を表したものです。財政の健全化が進むとグラフの左下へ、悪化状態になると右上に位置します。

県内における伯耆町の順位は、(良いほうから)実質公債費比率【7位】、将来負担比率【5位】と、いずれも県内市町村の平均を上回る結果となりました。

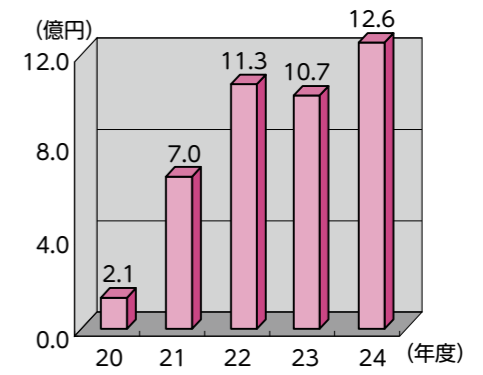
平成24年度県内市町村の状況



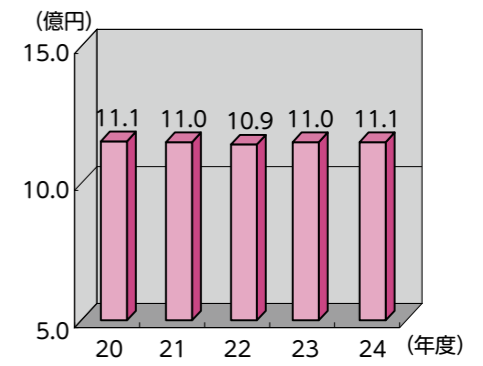
地方債(借金)残高の推移
借入金の抑制や、繰上返済(約2億5千万円)などによって減少傾向にあります。
【町民1人あたり67.0万円】



基金(貯金)残高の推移
将来の財政負担に備え、財政調整基金への積立(約1億2千万円)などによって増加しています。
【町民1人あたり29.7万円】



建設事業費の推移
学校耐震化事業などの建設事業を行い、前年度に比べて増加しました。



人件費の推移
職員給料カットの継続実施などにより、ほぼ横ばいとなっています。

2. 特別会計

町が特定の事業を行う場合に一般会計とは区分して経理するために設けている会計です。特別会計は、保険料や料金収入などによる独立採算を原則としますが、会計によっては一定のルールなどに基づいて一般会計が負担(繰出)をしています。

平成24年度の特別会計の決算状況は、有線テレビ放送特別会計を一般会計に移行したこと、また小規模集合排水事業特別会計(工事費の減少)において決算額(歳出)が減額したことにより、全体では、前年度に比べ約3億7千万円の減少となりました。

会計名	歳入	歳出	差引
町営公園墓地事業特別会計	440	77	363
住宅新築資金等貸付事業特別会計	78	3,160	△ 3,082
地域交通特別会計	10,456	10,456	0
国民健康保険特別会計	135,200	129,638	5,562
後期高齢者医療特別会計	12,187	12,170	17
簡易水道事業特別会計	30,531	29,854	677
丸山地区専用水道事業特別会計	866	866	0
小野地区専用水道事業特別会計	262	262	0
農業集落排水事業特別会計	29,292	29,292	0
小規模集合排水事業特別会計	9,273	9,273	0
公共下水道事業特別会計	19,576	19,576	0
浄化槽整備事業特別会計	2,020	2,020	0
索道事業特別会計	1,749	2,725	△ 976
合計	251,930	249,369	2,561

(単位:万円)

伯耆町水道事業会計(企業会計)	決算額
収益的収入	5,873
収益的支出	6,400
資本的収入	5,878
資本的支出	7,548

(単位:万円)

【問い合わせ先】総務課 ☎68-3111